

『知性』と『感性』の“窓”を いっぱいにあけて

知性

〈自問自答〉

人権って何？差別って何？
言葉ではうまく言い表せないかもしれないけれど…
差別の痛みは当事者にしかわからないかもしれないけれど…
その痛みを想像できる感性の持ち主でありたいな
それが“人権感覚”
そんな『自分』を求めて生きていこうとすることが
“確かな人権意識”

私はそんな優しい生き方がしたいな
今、**私**にできること…
「人の痛みをわかろうとする
“やさしい”態度や行動」
「差別と向き合おうとする
“強い”意思を持つこと」かな



感性

学びと行動

これまで考えてきた人権問題の他にも、中国帰国者、アイヌの人たち、HIV感染者、ハンセン病患者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者の問題など、人権に関わる問題がたくさんあります。

一人ひとりが身近なところで人権問題に気づき、学び、行動し、だれもが大切にされる『人権文化』が根づいた社会を築いていこうとすることが求められています。

人権文化の根づいたまち

私の『夢』を実現するために努力することを、他人と『ちがう』ということで「じゃま」されたくないと思うのは、ごく当たり前

私も“あなた”の『夢』を「じゃま」してはならないのはごく当たり前

お互いが人としての「約束事」を守り合って暮らせるように

「つながり」を求めて“行動”し合う、『やさしい』人と人が集う

だれにも『住みよいまち』

編集・発行 福山市人権推進部人権推進課
電話 084-928-1006
作成年月 2003年3月